

特定非営利活動法人あけび

あけび だより



神経難病（パーキンソン病）の人達を中心とした集いの場
就労継続支援B型ワークハウスあけび
通所介護施設デイサービスあけび
通所介護施設デイサービスあけびの実
2012年12月1日発行

NO.98



平成24年12月



絵手紙教室 菊池 武明氏

共生ケア・共生社会

先日、姫路で宅老所・グループホーム・ユニットケアの今を考える「フォーラム」が開催され、厚生労働省社会・援護局長の村木厚子氏の「地域共生社会に期待すること」と題した講演がありました。最近「共生社会」という言葉を耳にする事が多く、村木さんのお話には興味がありました。

「共生ケア」子どもから高齢者まで、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で生活が続けることができるように、少人数の家庭的な施設で「通い」や「泊り」などの福祉サービスを提供すること。

「共生社会」国民一人ひとりが、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくと共に、国民皆で子どもや若者を育成、支援し、年齢や障がいの有無等に関わりなく安全に暮らしていける社会。

今までの福祉サービスは、高齢者、障がい者、子ども、といった対象者ごとに縦割りされた制度だったが、利用者が必要とする福祉サービスは、複数の制度にまたがることもあり、対応が困難です。富山県の「地域共生ホーム」は、小規模で家庭的な雰囲気の中、縦割りの行政制度では対応できない様々な地域のニーズに応えていた。

数年前になりますが（平成19年10月）全国難病センター研究会が富山で行われました。テーマは「自立と共生からケアを考える」でした。シンポジウム形式で行われ、地域共生富山型の施設（このゆびとーまれ）の惣万氏と、神経難病の施設である『あけび』は林が、病気の特殊性から、病気や障がいの違う方達と一緒に時間を過ごすということは、非常に困難を伴うという報告をしました。

一定の援助を受けながら、（社会資源など）自分で症状のコントロールを行い、目標を持って主体的に生きる。自分が楽しいと思える場所で暮らすことが大切なパーキンソン病の患者にとって施設内での共生は困難である。

今もこの考えは変わっていないが「共生社会」は理想の形です。

特定非営利活動法人あけび

通所介護施設 ディサービスあけび
就労継続支援B型ワークハウスあけび

〒670-0948 姫路市北条宮の町215番地
TEL 079 (287) 1025
FAX 079 (287) 1026
mail:info@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3
TEL 079 (280) 6931
FAX 079 (280) 6932
mail:akebi-no-mi@akebi.or.jp

● イベント

食欲の秋



11月の
お誕生会は、

バイキングの店、ワールドビュッフェに行きました。目移りするほどたくさんのメニューについて食べすぎてしまいました。あけびに戻ってからは、ビンゴゲームとピアノとフルート演奏、「みかんの花咲く丘」の合唱で盛り上がりました。皆さんビンゴの景品ありがとうございました。



● おでかけ



行楽の秋

度々あけびにお越し頂いている仏教大学教授の赤松先生のお話によると、パーキンソン病の方は、外出する事によって脳（前頭葉）の活性化が行われ、良い効果をもたらすということです。特に新しい場所に行くのは、脳の刺激になるようです。そして、外で歩く事によって、脳の活性化だけでなく、運動効果、夜間の睡眠を促すメリットもありますね。



専門的なメカニズムは知りませんが、あけびでは外出してよく歩いていただいています。11月も色々な所に行きました。たつの聚遠亭、好古園、のじぎくの里公園、姫路城菊花展、農林漁業祭り...。皆さん、家の中での転倒が多いとよく言われますが、外出

の時には意外と転倒は少ないようです。きっと脳が活性化しているのでしょう。写真に写る皆さまの顔がそれを証明していますね。



【投稿文】 岩村和雄

自作の絵手紙カレンダーも残り一ヶ月となり、師走の風の冷たさを感じる今日この頃です。

思い返すに、今年の夏ほど長く大変さを実感した年はないか。つたように思いますが、これも歳のせいでしょうか。皆さま方は、如何お過ごしになりましたでしょうか。

私の今一番の悩みは声が出にくいことで、ついつい皆様の会話から外れようとしてしまいます。そんな私の気持ちを察して、「あけび」では、落ちこまないよう湯を入れてもらいながら、暖かく支えられています。本当に有難いことです。通所者一人一人の抱えている悩みは違いますが、支え合う雰囲気作りに取り組んでいただくスタッフの方々の心遣いにも感謝の気持ちで一杯です。

仲間の皆様、「あけび」と言う我々にとつての憩いの場をこれからも大事にして、気持ちを明るく前向きに頑張ろうではありませんか。

お誕生日おめでとう



今月の誕生会は茶話会を計画しました。手巻きずしにお菓子バイキング。釣りは個人戦なので力が入りました。職員による「ドリフの早口こと〜ば」はお受けでした。

野菜畑



畑には、イチゴ・大根・水菜・玉ねぎ・チンゲン菜・キク菜・ほうれん草が所狭しと元気に育っています。

おでかけ



久々のお出かけ、鹿ヶ壺のかかしを見に行きました。リアルな人形に皆びっくりするやら、感動するやら・・・



観光資源を利用したパーキンソン病の方のリハビリテーションの効果について「エコツーリズム」

仏教大学の赤松先生の研究に協力という形で「好古園」や「書写山」に出かけています。出かける前と後の活動量を計りどんな効果があるかを調べています。赤松先生は「あけび」が出来たころから交流があり、今も続けている棒体操や色々なリハビリを教えて頂いた先生です。



「かかしの里」に行ったら本当にびっくりしました。人間そっくりで、そのままのようでした。モミジの紅葉がとてもきれいで、満喫できました（柳）

あけびの実の予定

- 社交ダンス：12月5日（水）
- フラワーアレンジメント：12月18日（火）
- 温熱療法：12月15日（土）
- 浜坂かにツアー：12月11・12日
- 誕生会&クリスマス会：12月19日（水）
- 餅つき：12月26日（水）

年賀状の作成致します



表面 1枚 20円
裏面 1枚 50円
手数料 1式 1000円

野菜市



野菜市も今回で12回目を迎え、出勤前の主婦の方や、いつもヘルパーさんと一緒に寄られる男性の方、あけび

のごく近所の方々等お得意様が出来、野菜市を始めて良かったと思うこの頃です。ご協力頂いている農園の方やお客様に感謝致します。

ワークのお出掛け



古風的なすくね茶屋

龍野の聚遠亭に紅葉狩りに行って来ました。紅葉は6割位でしたが、とても美しく、皆感動していました。昼食は、すくね茶屋で戴き満足して帰りました。

すこやかセンターバザー



次回は、12月20日です(木)です



今年一年温かく見守って頂き有難うございました。来年も皆で協力し合って頑張りたいと思っております。引き続き宜しくお願い致します。

お知らせ

全国パーキンソン病友の会 兵庫県支部 姫路ブロック

姫路ブロック交流会予定

第23回兵庫県患者・家族交流会
日時：12月22日(土)
場所：しあわせの村
申込：必要

姫路ブロック新年会
日時：1月20日(日) 11:30 ~
場所：あけびの実
会費：1,000円(一家族)

申し込みが必要です。「すくらむ」1月号に詳しく書いていますので、是非ご家族揃ってご参加ください。

役員一同お待ちしております。

全国パーキンソン病友の会姫路ブロック
TEL079-280-6935 / FAX079-280-6932

兵庫県立スポーツ交流館 川口所長より

卓球全国大会が先日行われました。姫路からは15名の参加があり、全国から70名の方が鹿児島から、新潟からと参加がありました。

また、パーキンソン病と卓球のお話を兵庫県立スポーツ交流館の川口所長にいただいたのですが、川口先生より早速来年に向けての事業として卓球教室を組んで下さるとの連絡がありました。

医療相談会

宇多野病院水田英二先生

日時：12月24日(月) PM1時から
人数：10名位(一人15~20分)
申込：“あけび”にお電話下さい
079-287-1025

署名にご協力お願い致します

パーキンソン病患者のQOL(生活の質)向上のための請願署名をお願いしています。昨年と同様、皆様のご協力よろしくお願い致します。署名締切は2月20日です。署名用紙は「あけび」「あけびの実」にあります。遠方の方はお送りいたしますのでご連絡下さい。

お問合せは
全国パーキンソン病友の会姫路ブロック
TEL079-280-6935 / FAX079-280-6932

「ジョイン・アス」 12月・1月の練習日



12月13日(木) 1月10・24日(木)
時間：1時~3時
場所：ルネス花北 持ち物：上靴・ラケット

連絡は北村、長谷川まで電話：(287-1025)